時代を生き抜いた赤水門：荒川放水路の開設時から隅田川への流れをコントロールした旧岩淵水門

撮影：2012年11月（東京都・北区志茂）

◆旧岩淵水門（赤水門）は、1916年から8年間の歳月をかけて青山士（あきら）の工事監督のもとで建設されました。1982年に新水門完成に伴いその役割を終えましたが、地元から強く惜しまれて保存が決まり、現在は東京都選定歴史的建造物及び日本の近代土木遺産に指定されています。

◆河川敷岩淵地区では10/13から11/11まで、船着場からのクルーズ体験、バーベキュー場の有料使用、軽食・ドリンクサービスなどを実施して、河川敷のにぎわい推進イベントに挑戦しています。

国土文化研究所　特任研究員　岡村幸二（JRRN会員）